

ドラマシーンにできること

ドラマシンの手順

- ① シーン表を振る
- ② 登場人物や判定を選んで、シーンの演出を行う。
- ③ 回復判定・調査判定・感情判定のいずれか一つを選んで判定を行う。好きな特技で判定。

そのほかに行えること

- 情報やアイテムの受け渡し
シーンに登場しているキャラクターは、持っているアイテムや、知っている他人の【情報】を譲渡・交換することができる【自分の心の扉】を、自分から渡すことはできない。
- アイテムの使用
▶ 指定されたアイテムで可能。同じサポートアイテムは、1アイテムに一回しか使用できない。
▶ 効果で【自分かシンクアレンジャーなら】と指定されている場合、シンクアレンジャーしか使用できない。
- 再訓練
アレンジャーの指定特技を変更を行うことができる。
- シンキング
GMIに、期間の状態がどうなっているか聞いたり、NPCに質問したりできる。

回復判定

- ▶ 同じシーンに登場しているキャラクター一人(自分も可能)の【生命力】が【正気度】を1点回復する。
- ▶ 同じシーンに登場している自分以外のキャラクター一人にカウンセリングを行い、未公開の【狂気】一枚を無くすることができる。カウンセリングを行うには、未公開の【狂気】の内容が分かっている必要がある。

調査判定

- ▶ 好きなキャラクター一人を選ぶ。そのキャラクターの持つ【情報】(【居所】・【秘密】・【精神状態】)を一つ獲得する。

感情判定

- ▶ 同じシーンに登場しているキャラクター一人を選ぶ。自分と目標は、互いに1D6を振り、お互いに対する【感情】をランダムに獲得する。プラスかマイナスかの属性は、各自が自由に決めてよい。
- ▶ すでにそれぞれに対する【感情】を持っているキャラクターが新たに、同じ相手に【感情】を獲得した場合、それを上書きする。ただし、それが感情判定を行った本人だった場合、上書きしないことを選ぶことができる。

ルールサマリー

重要なルール

- 再挑戦
自分の【好奇心】の分岐の特技を指定された判定の場合、【生命力】が【正気度】1点減少することで、一度だけサイコロを振り直すことができる。
- スベシヤル
自分の【生命力】が【正気度】が1点回復。
- ワンアブル
【狂気】を一枚獲得。

感情を持っている相手にできること
「情報共有」「戦闘乱入」「感情修正」

シーン表

- 2 血の匂いがあたりには充満している。事件か？ 事故か？ も？ それは今も続いているのだろうか？
- 3 これは……夢か？ もう終わったはずの過去が、記憶の中から蘇ってくる。
- 4 眼下に広がる街並みを見下ろしている。なぜこんな高所に……？
- 5 世界の終わりのような暗黒。暗闇の中、何者かの気配が蠢く……。
- 6 穏やかな時間が過ぎていく。まるであんなことがなかったかのようだ。
- 7 遠った土の匂い。濃密な気配が漂う森の中。鳥や虫の声、風にそよぐ木々の音が聞こえる。
- 8 人通りの少ない住宅街。見知らぬ人々の住まう家々の中からは、定かたではない人声や物音が漏れてくる……。
- 9 にわかに空を雲が覆う。強い雨が降り出す。人々は、軒を求めて、大群で駆け出していく。
- 10 荒れ果てた廃墟。朽ちた生活の名残。かすかに聞こえるのは風か、波の音か、耳鳴りか。
- 11 人ごみ。喧嘩。けいたました店内BGMに、調子づっぱずれの笑い声。賑かしい繁華街の一角だが……？
- 12 明るい光に照らされて、ほっと一息。だが光が強いほどに、影もまた濃くなる……。

狂気

- ▶ 恐怖判定に失敗すると【狂気】を一枚獲得。
- ▶ 【狂気】のトリガーが発生すると、【狂気】を公開して、顕在化する。効果発動
- ▶ 顕在化した【狂気】一枚につき、攻撃アビリティ使用時のダメージが1点上昇する。
- ▶ 顕在化した【狂気】が、自分の【正気度】の値を超える、そのキャラクターは錯乱状態になる。
- ▶ 【狂気】の山札がすべて無くなった場合、ゲームは終了し、バッドエンド表を使用。

錯乱状態

- ▶ 戦闘中、プロットがランダムになる。
- ▶ 攻撃と戦闘からの自発的な脱走以外の行動は、【生命力】が【正気度】を1点消費しないと、行うことはできない。

感情表

- 1 共感(プラス)／不信(マイナス)
- 2 友情(プラス)／怒り(マイナス)
- 3 愛情(プラス)／妬み(マイナス)
- 4 忠誠(プラス)／侮蔑(マイナス)
- 5 憧憬(プラス)／劣等感(マイナス)
- 6 狂信(プラス)／殺意(マイナス)

恐怖の種類

- 暴力的な恐怖
自分の身体の異常、おびただしい血、無惨な死体、残酷な虐待の現場、悲惨な戦場など。
- 情動的な恐怖
執拗な想いが綴られた手紙や日記、異常な愛情、裏切りや失恋など親しい人との別れなど。
- 知覚的な恐怖
不気味な芸術作品、悲鳴や断末魔、裏切りの言葉、衝撃的な映像、食人などの禁忌など。
- 技術的な恐怖
先端技術の暴走、機械の暴走や事故、自分の存在価値を奪いかねない新しい発明など。
- 知識的な恐怖
非人間的な知識、不都合な真実、国家的陰謀、自分の社会的身分の喪失、怪異について書かれた知識など。
- 怪異的な恐怖
幽霊・異世界の悪魔、学校の怪談、魔術や超能力、UFOやエイリアンのような超自然的存在や現象、能力など。